



カレブ通信

2011 年 5 月 15 日
第 5 号

1 各地カレブの会の報告と予定

東京カレブの会 (御茶ノ水 OCC)

●4月22日の報告

1) 主なテーマ:「田舎で神に仕える」を山本文夫さん、遠藤誠一さんから分かち合ってくださいました。

●5月27日の予定

★「それぞれの3:11」と祈り

傾聴ボランティアされてきた杉田さんやその他の現地奉仕に参加された方々からのお証を聞き「それぞれの3:11」を考え、共に祈りの時を持ちたいと思います。みなさまの中にある思いを分かち合ってください、今後求められている愛の働きの広がりを期待していききたいと思います。

★島田宏幸さんが「早期退職からの恵み」と題して分かち合ってくださいます。

●6月24日(金) 東京カレブの会の予定

宇都宮カレブの会 (宇都宮)

●5月7日報告

「愛する人を亡くした時、こころの支えになったこと」について田村さんの証。6月4日、同じテーマで分かち合いをします。宮村さんの証

宇大カレブの会 (宇都宮)

●4月30日の報告・・・それぞれのインサイダーとしての歩みの分かち合い

2 今月の祈りのテーマ

1) 遠藤誠一さんのために:

島根の田舎での新たな生活がはじまりました。両親の救いのため、そして地元の日本キリスト教団安来教会が地域の宣教のために用いられる教会として成長してゆくよう祈りください。

2) 西山久夫さんのために:

毎日、リハビリに励んでおられます。「今回も神に助けられ、本当に聖霊が私に宿っておられるのを見たように思います。試練と恵みに深く感謝しています」というメールをくださいました。6月のカレブの会で証をしてくださいます。

3) 東日本大震災のために:

●いまだ家族が行方不明の方々の心に慰めといやしがありますように

●継続的な被災地への物心両面からの支援が続きますように

●福島原発事故収束に向けて戦っている人々が支えられ、問題が一日も早く解決に向かいますように

●被災地の教会が立ち上がりつつあります。地域の教会の宣教に多くのキリスト者による支援が継続され、一人でも多くの人々に福音が届けられますように。

この号の内容

1 カレブの会の報告と予定

2 祈りの課題

3 メンバーからの報告

4 カレブ ストーリー

どうか、神が私たちをあわれみ、祝福し、御顔を私たちの上に照り輝かせて下さるように。

それは、あなたの道が地の上に、あなたの実救いがすべての国々の間に知られるためです。

詩編 67:1,2

3 メンバーからの報告

静岡県川奈聖書教会 山本 文夫



今日まで田舎の教会から都会の教会に進学・就職で青年信徒が移動してきた。

このプロジェクトは逆に、都会からベテラン信徒を田舎の教会へ送ることによって田舎の教会を活性化し、若い有意の信徒を都会に送り出す力を再生するという循環を実現するものです。



小鳥と遊ぶ山本さん

「田舎で神に仕えよう」プロジェクト構想について

Plain Living and High Thinking, No More

- ・このプロジェクトのキーポイントは、田舎の信徒と田舎へ移住する者がともにキリストの共同体に属する同労者であることです
- ・今日まで田舎の教会から都会の教会に進学・就職で青年信徒が移動してきたこのプロジェクトは逆に都会からベテラン信徒を田舎の教会へ送ることによって田舎の教会が活性化し 若い有意の信徒を都会に送り出す力を再生するという循環を実現するものです
- ・これはすなわち田舎の教会も都会の教会もキリストにある同労者だからです

1. 地方で教会の劣勢が顕著

- ① 少ない田舎の教会数（クリスチャン新聞・プロテスタント教会教勢調査 2010）
人口百万人当たり 地方 55 教会 都会 112 教会 全国 62 教会
- ② 少ない田舎の礼拝出席者数（同上調査）
人口 1000 人当たり 地方 1.4 人 都会 2.6 人 全国 2.0 人
- ③ 信徒一人当たり未信徒数（同上調査）
地方 370 人 都会 190 人 全国 240 人
- ④ 増える無牧の教会 例：伊東市でカトリックを含む 8 教会中 4 教会で聖職者不在の危機

2. 退職後、田舎に住むことを希望する人が増えている

- ① 60 歳から余命 25 年(人生の 4 分の 1)をどう生きるか（ささげるか）
- ② 都会に主体的な役割・魅力的な働き場所があるか（人との交流・グループ活動は認知症を防ぐ）
- ③ 都市部の 50 代の 3 割が田舎移住を希望（内閣府調査）
- ④ 田舎の魅力：大自然、ストレスが低い、被造物の不思議、創造者の喜び（園芸・運動は認知症を防ぐ）I テモテ 4：4
- ⑤ 安い物価；生活費は月 10 万円以下
- ⑥ 増える空き家：1 戸建て 100 坪のオーナーも夢ではない
- ⑦ 増える耕作放棄地：開墾不要、地代ゼロ円もありうる
- ⑧ “Plain Living and High Thinking, no more” W. Wordsworth

3. 田舎で何がもとめられているか

- ① 孤立化する高齢者：田舎も独居老人率が高い 熱海市で万引きの犯罪者の 75% が老人
- ② 情報阻害：ネットショッピング、手続きができない
- ③ 助け手がない：65 歳は立派な若者 コミュニティカー、AED 救命ボランティア
- ④ 聞き手がない：お茶の相手、傾聴ボランティア
- ⑤ 教会が超高齢化：働き手がない

4. 神にどのように仕えるか（山本の例）

詩篇 92 篇 彼らは、主の家に植えられ、私たちの神の大庭で栄えます
彼らは年老いてもなお、実を实らせ、みずみずしく、おい茂っていきましょう
して彼らは、主の正しいことを告げましょう

- ① 畑は礼拝の場所 荒野の修道僧

- ② 畑は交際の場所 オーガニック野菜外交
 - ③ ヤマガラは心のオープナー 巣箱、バードフィーダー
 - ④ 自宅をオープンハウスに
 - ⑤ 手作り絵本・物語の読み聞かせ会
 - ⑥ 未信者を巻き込んだ聖歌隊
 - ⑦ 証しのエッセイをプリント
 - ⑧ ニホンミツバチの飼育、蜂蜜外交
 - ⑨ 庭をオープンガーデンに
 - ⑩ 町会の役員引き受け
 - ⑪ ローカル紙に記事、随筆掲載
 - ⑫ 地域のボランティアに参加
- その他ピザカフェ、パン屋カフェ、そば屋、ケーキ屋、〇〇教室など、週3日の営業でもよい 人の集まる福音コミュニティを作ることがキー

4. 田舎サイドはなにができるか

- ① 安い空き家を探す

- ② 貸せる耕作放棄地を探す
- ③ 仕事を探す
- ④ 野菜の作り方を教える
- ⑤ 教会内に働く場所をつくる
- ⑥ 主にある共同体の同労者として迎える
- ⑦ 企画を皆で後押しする

5. このプロジェクトをどのように進めるか

- ① マーケットプレイス：空き家、耕作地、教会ニーズ、支援情報のホームページの立上げ
- ② 成功例：収集、HPで公表
- ③ PR：キリスト教系新聞、クリスチャンネット
- ④ 事前研修・実習： 召命の確認 的確性・適応力の見極め・・・OMFメソッド

4 カレブ ストーリー

「島根の田舎に祈りの家を」 遠藤誠一さん

●私の夢

退職後は、島根県安来市の実家に帰り、農業を手伝いながら、時々地元の学校の非常勤講師などをしながら、イエス様の御用に用いられたいと願っています。妻は祈りの人で、祈祷院に行きよく祈ります。その妻の特性も活かし、妻とともに、将来は「祈りの家」ができたらと考えています。

しかし、まずは、家族、親族の伝道、地域の伝道と広げていきたいと願っています。そして、地域のニーズをよく見ながら、伝道の方法も研究しなければなりません。地元の日本キリスト教団安来教会は、無牧で3～4人の信徒により礼拝が守られています。この教会を活性化することも必要だろうとおもいます。

まず考えていることは、家庭集会です。アルファコース（イギリスの牧師がビデオでわかりやすいメッセージを語り、その後話し合い、交わる集会です）を年数回やれるかなと考えています。また、状況が整ってきたら自宅を開放し（20人ぐらいまでは宿泊可能です）、都会で疲れた人やリフレッシュしたい人などを受け入れ、農業体験やみことば、祈り、賛美などで、癒しを体験できるように、そして、元気になって帰っていくような働きができないだろうか、などいろいろな考えがあります。何ができるかは、イエス様の導きしだいなので、祈りの求めて行きたいと考えています。

●課題について

農村地帯はかなり保守的です。まず、地元の人たちの信頼を得る必要があります。おそらく、私がクリスチャンとして、帰省することは地元のかかりの人が知っていて、注目しているだろうと思います。お墓の問題、お寺、神社とのお付き合いの仕方、葬式、法事などへの態度をみていることでしょうか。丁寧な付き合いが必要です。妥協するのではなく、丁寧に説明できることはする。一線を引くところは引くなど。地元のニーズを知って応えていけることはする。など課題はいろいろです。



自己紹介

1950年農家の長男として生まれる。実家は島根県安来市赤江町越前、現在約6000坪ぐらいの田んぼがあり、米とイチゴを栽培中（82歳の父と81歳の母の手で）。周囲は田園地帯。車で5分ぐらいで、中海という淡海水の海があり、温泉も車で、15分ぐらいのところにある。

東京農業大学入学。大学3年生の時 イエスを信じる。大学卒業後、私立順天高校の理科教師を2年間勤める。その後、川崎市立の中学校を29年間、川崎市立聾学校に7年勤務、今年3月定年退職。

お問い合わせメール
se195077@yahoo.co.jp

